

2009年11月6日

PIM事業用の混練機を導入しました。

2009年10月16日にお知らせしました、PIM(Powder Injection Moulding^{*1})事業につきまして、この度、弊社連結子会社である株式会社ダイプラにおいてバインダ量産用の混練機を導入しました。

これによりひと月あたりのバインダの生産量が最大6tとなり、今後の受注の増加に対応できる生産体制となりました。

今後は焼結炉も導入し、超耐熱性・高熱伝導性セラミックスの開発を加速させ、早期の製品化を目指します。

今後ともPIM事業の成長にご期待下さい。



写真: 今回導入した2軸縦型加熱式混練機

* 1 PIMとは粉末射出成形の略で、金属やポリマー微粒子などの微粉末とバインダの混合物を金型で射出成形し、取り出した成形品を、真空炉で脱脂と高温焼結して金属製品をつくりだす方法。

以上